

# みんなの疑問・質問にお答えします



すずめの害から  
お米を守る方法を  
教えてください。

## お米 Q&A

本文監修  
国立大学法人新潟大学 農学部応用生物化学科  
教授 大坪 研一



### A

すずめの害は実りの初めごろ、まだもみのなかでお米が固くならないころに多く、すずめの害を受けたもみは白くなってしまいお米が実りません。

実りのころにすずめを寄せつけない方法には、目の細かい網(防鳥ネット)を張る方法と、スズメを追い払う器具を使う方法がありますが、確実なのは水田に防鳥ネットを張る方法です。防鳥ネットの網目はできるだけ細かいほうが効果はあり20mm目<sup>(※)</sup>から10mm目のものがよく使われます。ネットが風などでたるむと、網目から稲穂がとび出て、その部分がすずめに食べられてしまうので、たるまないように、また、地面からすき間ができないように張ります。追い払い器具は、すずめの警戒心を利用するものですが、すずめが慣れてしまうと効果が弱くなるという点があります。追い払い器具のおもなものは次のとおりです。

【防鳥テープ】…きらきら光るテープを張りめぐらせ、光で鳥をおどろかせる

【爆音機】…大きな爆発音で鳥をおどろかす。住民から騒音の苦情が出ることもある

【かかし】…人に似ているほど、また、動きがあるほど効果はある

また、すずめは実りのころにはお米を食べる害鳥ですが、稲の害虫を食べてくれる益鳥でもあります。なお、水を入れる前の乾いた水田に直接種もみをまく「乾田直播(かんでんじかまき)」の場合は、すずめに種もみを食べられてしまうこともありますので、種もみは2～3cm以上に深く植えるようにします。

(※) 網の目の大きさが20mm(2cm)四方。10mm目も同じ意味。

(社)米穀安定供給確保支援機構(米穀機構)情報部

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町15-15 TEL 03-4334-2161・FAX 03-4334-2167

▶ 「Q&A」のトップへもどる ◀

▶ 米ネットトップページへもどる ◀